



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 黒田精工

コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 荻窪 康裕

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,211	23.5	△148	—	△116	—	△92	—
26年3月期第1四半期	2,599	4.8	△140	—	△91	—	△57	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △77百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 203百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△3.29	—
26年3月期第1四半期	△2.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	18,356	7,874	41.8	273.32
26年3月期	18,037	7,729	41.7	267.76

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 7,670百万円 26年3月期 7,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,200	32.6	80	—	140	—	120	—	4.27
通期	14,400	18.9	160	—	280	—	240	—	8.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	28,100,000 株	26年3月期	28,100,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	35,133 株	26年3月期	35,133 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	28,064,867 株	26年3月期1Q	28,067,527 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済状況はウクライナ情勢による世界経済への影響や消費税増税等による国内消費の縮小が懸念されたものの、政府による財政・金融政策の効果等により回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの主要市場のひとつである半導体・液晶市場が回復したことに加え、自動車等その他の市場も堅調に推移し、受注高3,681百万円（前年同期比946百万円、34.6%増）、売上高3,211百万円（前年同期比611百万円、23.5%増）となりました。

利益面に関しては、前年同期に比較して増収となったものの、残念ながら損失が拡大する結果となりました。主な理由としては、利益率の低い製品の売上が増加したこと、人件費、電力料等の増加を主因とし売上原価が前年同期比518百万円増加したこと、人件費増加を主因として販売費及び一般管理費が前年同期比100百万円増加となったこと等です。経常損失116百万円（前年同期は経常損失91百万円）、四半期純損失92百万円（前年同期は四半期純損失57百万円）の結果となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

○駆動システム

当事業セグメントの主要顧客である半導体・液晶市場が堅調に推移したことにより、受注高1,720百万円（前年同期比563百万円、48.7%増）、売上高1,519百万円（前年同期比373百万円、32.6%増）となりました。利益面では企業買収によるのれん償却、棚卸資産評価損等の影響はあったものの、営業利益24百万円（前年同期は営業損失3百万円）の結果となりました。

○金型システム

新型ハイブリッド車向けのモーターコア受注が好調だったことにより、当事業セグメントの受注高は1,016百万円（前年同期比385百万円、61.1%増）、売上高は816百万円（前年同期比163百万円、25.0%増）の増収となりました。しかしながら、相対的に利益率の低い製品の売上が増加したことに加えて、前年同期には営業利益を計上していたマレーシアの子会社が大口顧客の生産低迷により当第1四半期は営業赤字と不調であったことなどにより、営業損失91百万円（前年同期は営業損失68百万円）の結果となりました。

○機工・計測システム

ツーリング事業の譲渡等の構造改革に伴う影響はあったものの、生産終了商品の集中的売上や好調な自動車業界向けのビジネスに支えられ、受注高は952百万円（前年同期比2百万円、0.3%増）、売上高は882百万円（前年同期比80百万円、10.0%増）と堅調に推移しました。しかしながら、構造改革によるコスト削減効果はこれから実現されることに加え人件費等の販売管理費が増加したため、営業損失65百万円（前年同期の営業損失66百万円）の結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は18,356百万円となり、前連結会計年度末と比較して318百万円増加しました。これは主に現金及び預金、売上債権等の増加により流動資産が601百万円増加したのに対し、固定資産が283百万円減少したことによるものです。

一方負債合計額は10,481百万円となり、前連結会計年度末と比較して173百万円増加しました。これは主に短期借入金の増加等により流動負債が670百万円増加したのに対し、退職給付に係る負債の減少等により固定負債が497百万円減少したことによるものです。

また、当第1四半期連結会計期間末の純資産は7,874百万円となり、前連結会計年度末と比較して145百万円増加しました。これは主に利益剰余金が115百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、前回公表（平成26年5月14日）の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は次の通りであります。

平成26年3月に中国においてボールねじ、アクチュエータ、工作機械の輸出入販売を目的として、平湖黒田捷納泰克商貿有限公司（非連結子会社）を新規設立しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について退職給付の見込支払日までの平均期間とする方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が409,846千円減少し、利益剰余金が264,351千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失に及ぼす影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,188	2,408,860
受取手形及び売掛金	2,790,680	2,899,466
商品及び製品	432,684	436,927
仕掛品	1,143,207	1,254,014
原材料及び貯蔵品	493,558	508,730
その他	583,480	804,701
貸倒引当金	26,133	25,402
流動資産合計	7,685,667	8,287,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,636,058	2,594,659
土地	1,926,258	1,926,258
その他（純額）	1,615,988	1,557,806
有形固定資産合計	6,178,304	6,078,724
無形固定資産		
のれん	1,464,169	1,430,715
その他	360,497	380,952
無形固定資産合計	1,824,667	1,811,667
投資その他の資産		
投資有価証券	1,447,950	1,602,603
その他	903,112	577,861
貸倒引当金	1,788	1,675
投資その他の資産合計	2,349,275	2,178,789
固定資産合計	10,352,248	10,069,181
資産合計	18,037,915	18,356,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,525,863	2,682,903
短期借入金	1,221,133	1,480,460
未払法人税等	51,271	19,063
賞与引当金	118,593	251,731
その他	833,996	987,260
流動負債合計	4,750,859	5,421,420
固定負債		
長期借入金	1,818,164	1,685,872
役員退職慰労引当金	123,012	126,560
環境対策引当金	93,872	93,872
退職給付に係る負債	2,310,525	1,895,234
その他	1,212,145	1,258,658
固定負債合計	5,557,720	5,060,198
負債合計	10,308,579	10,481,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	2,784,189	2,900,075
自己株式	7,663	7,663
株主資本合計	6,102,921	6,218,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	409,787	476,104
土地再評価差額金	801,078	801,078
為替換算調整勘定	472,469	438,538
退職給付に係る調整累計額	271,588	263,962
その他の包括利益累計額合計	1,411,746	1,451,758
少数株主持分	214,667	204,295
純資産合計	7,729,335	7,874,861
負債純資産合計	18,037,915	18,356,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,599,184	3,211,082
売上原価	2,061,001	2,579,640
売上総利益	538,183	631,441
販売費及び一般管理費	679,056	779,738
営業損失(△)	△140,872	△148,296
営業外収益		
持分法による投資利益	5,158	4,125
設備賃貸料	17,322	15,845
受取ロイヤリティー	21,435	21,775
助成金収入	22,556	21,912
その他	32,743	23,567
営業外収益合計	99,216	87,225
営業外費用		
支払利息	30,596	19,831
その他	19,229	35,439
営業外費用合計	49,826	55,271
経常損失(△)	△91,483	△116,342
特別利益		
固定資産売却益	—	2,189
特別利益合計	—	2,189
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△91,483	△114,152
法人税、住民税及び事業税	12,902	15,426
法人税等調整額	43,483	28,561
法人税等合計	△30,581	△13,135
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,902	△101,017
少数株主損失(△)	△3,010	△8,686
四半期純損失(△)	△57,891	△92,331

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△60,902	△101,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,849	66,316
為替換算調整勘定	225,731	△35,534
退職給付に係る調整額	-	7,626
その他の包括利益合計	264,581	23,156
四半期包括利益	203,679	△77,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,964	△67,571
少数株主に係る四半期包括利益	4,714	△10,290

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,144,826	653,611	800,747	2,599,184	—	2,599,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,332	—	1,626	2,959	△2,959	—
計	1,146,158	653,611	802,373	2,602,144	△2,959	2,599,184
セグメント損失(△)	△3,909	△68,627	△66,678	△139,214	△1,658	△140,872

(注) 1 セグメント損失の調整額△1,658千円は、セグメント間取引消去△624千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△1,033千円であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,514,656	816,688	879,737	3,211,082	—	3,211,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,828	5	2,966	7,800	△7,800	—
計	1,519,485	816,694	882,703	3,218,883	△7,800	3,211,082
セグメント利益又は損失(△)	24,770	△91,435	△65,612	△132,277	△16,019	△148,296

(注) 1 セグメント損失の調整額△16,019千円は、セグメント間取引消去△1,223千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△14,795千円であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。